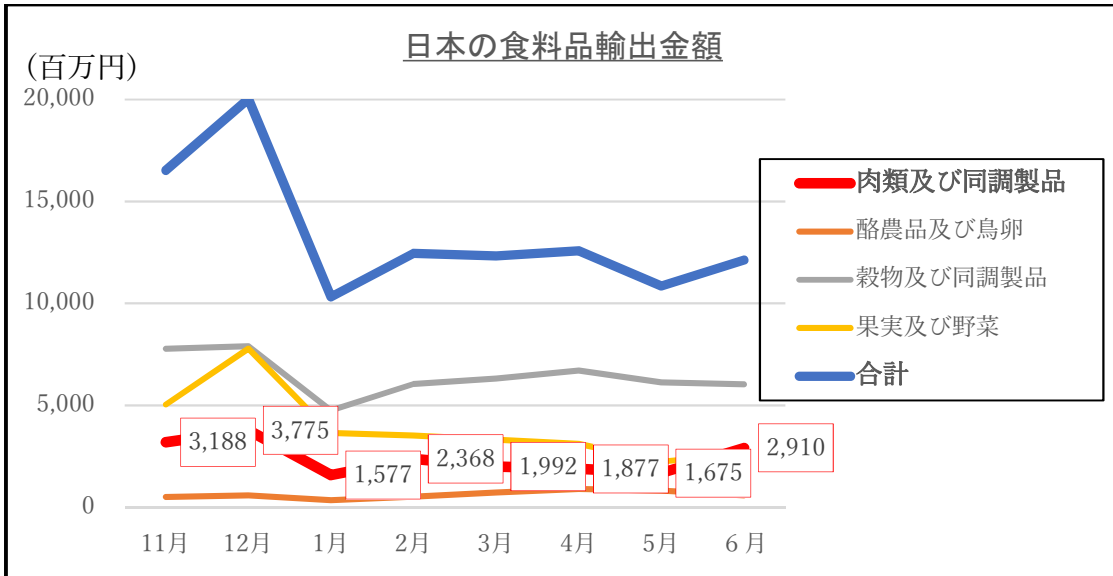


C 牛肉輸出に対するコロナ感染拡大の影響について

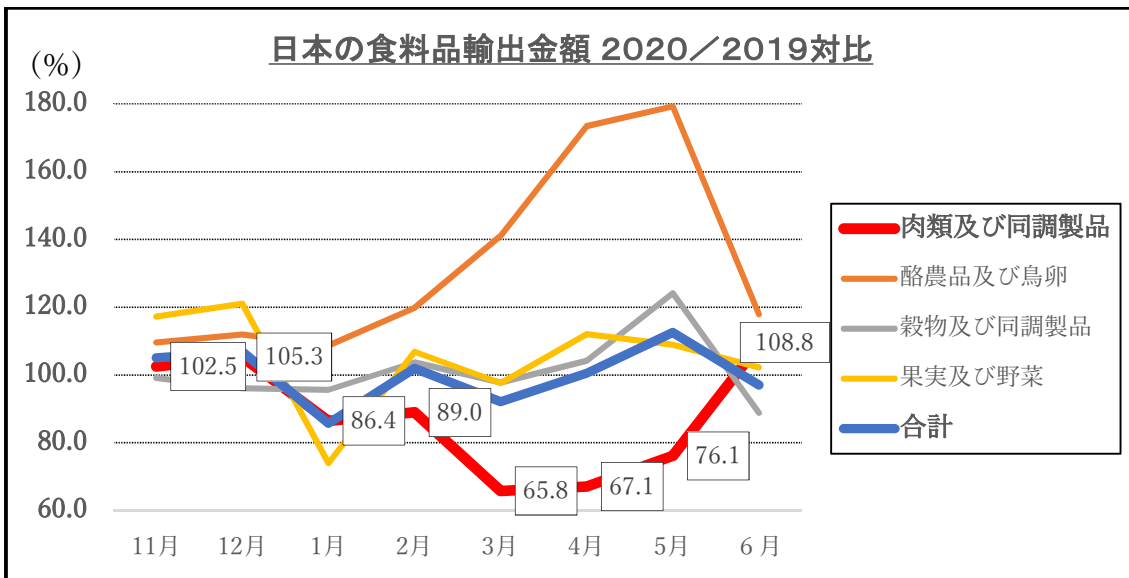
1. 食料品輸出の中の肉類輸出について



出典：財務省「貿易統計」

2019年11月に中国で確認されて以降、日本の食料品輸出高(金額)を表したのが上記のグラフである。

「肉類および同調製品」の輸出金額は、12月までは増加傾向であったが、コロナウイルスの感染拡大が海外でも確認された1月から減少が始まったが、6月には増加に転じた。

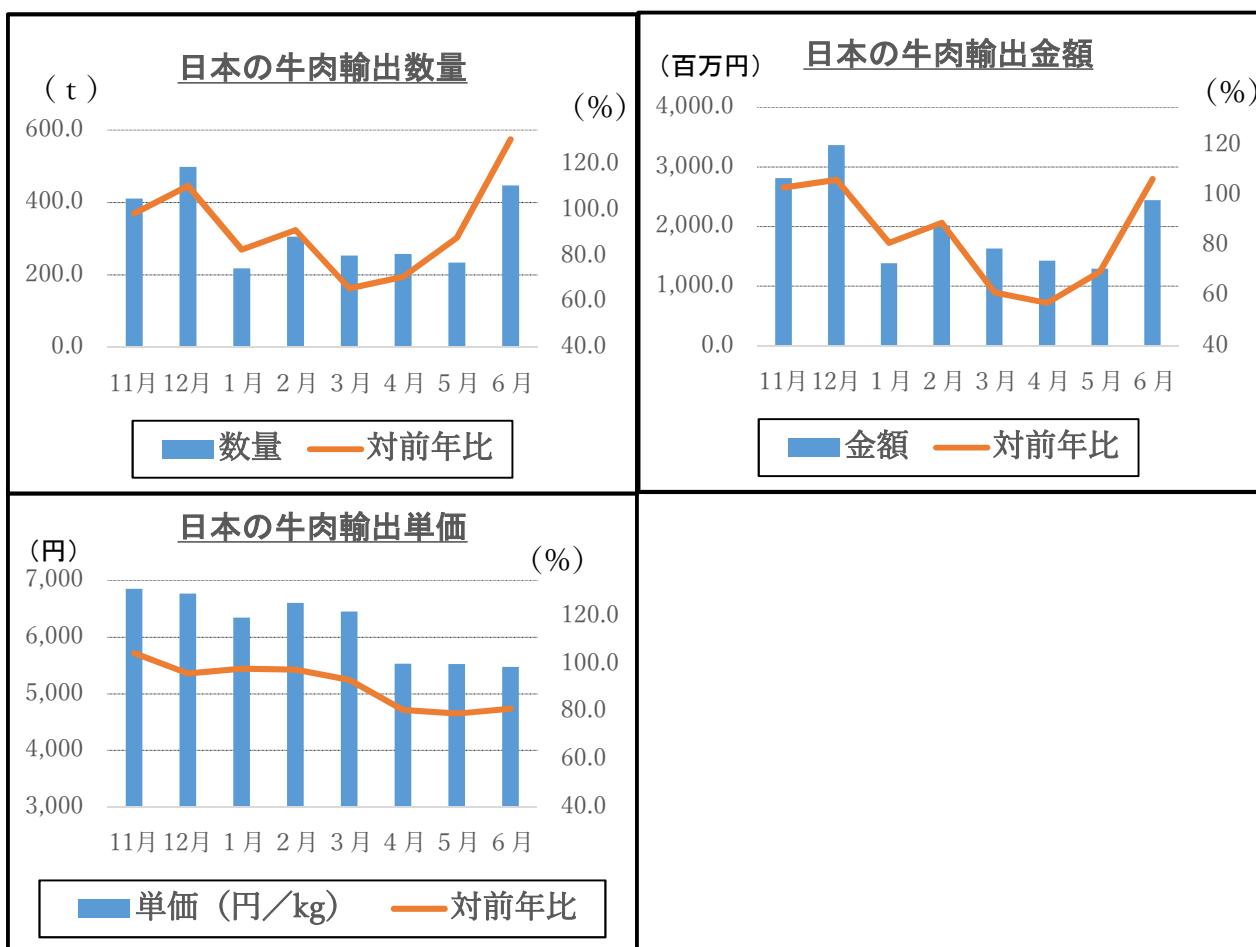


出典：財務省「貿易統計」より算出

また、輸出金額を対前年比で見ると、1月から減少に転じ、米国でコロナウイルスの感染が拡大した3月から減少率が大きくなったが、6月には前年の同水準まで増加した。この「肉類」輸出の減少は、輸出先の各国でコロナウイルスの感染が拡大して市民の外出が制限される中、外食需要が極端に少なくなり、レストラン等で使用される「肉類」の需要が減少したためと考えられる。ほかの食料品に比べ輸出への影響度が大きかった。

2. 牛肉の輸出数量、金額および単価の推移

①牛肉全体



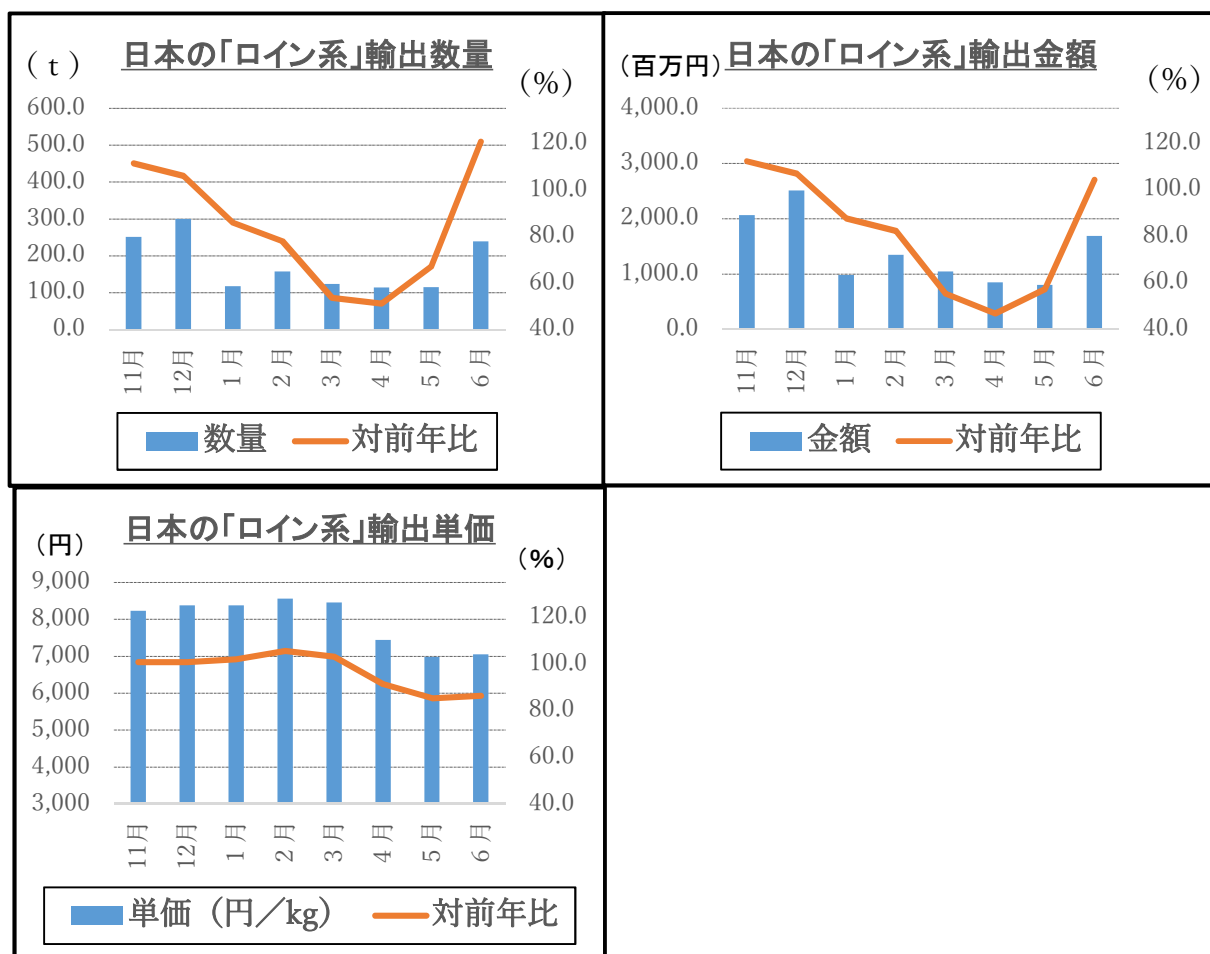
2019年11月に中国で確認されて以降、日本の牛肉輸出の数量、金額及び単価を表したのが上記のグラフである。

コロナウイルスの感染拡大が海外でも確認された1月から数量、金額とも急激に減少したが、それにともなって単価も下落傾向にある。6月に数量、金額は回復に転じたものの、単価の下落は継続している。

《牛肉全体》

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
数量(トン)	410.4	497.7	217.9	305.5	253.0	257.6	234.1	446.5
(対前年比)	(98.6)	(110.6)	(82.8)	(91.3)	(65.8)	(70.8)	(87.9)	(131.0)
金額(百万円)	2,812.8	3,368.0	1,381.6	2,017.7	1,632.2	1,424.5	1,293.6	2,442.6
(対前年比)	(103.1)	(106.2)	(81.1)	(89.1)	(61.3)	(57.1)	(69.6)	(106.5)
単価(円/kg)	6,854	6,767	6,342	6,604	6,451	5,530	5,526	5,470
(対前年比)	(104.6)	(96.0)	(98.1)	(97.6)	(93.3)	(80.7)	(79.2)	(81.3)

②「ロイン系」牛肉の数量等



2019年11月以降、日本の「ロイン系」牛肉輸出の数量、金額及び単価を表したのが上記のグラフである。牛肉全体と同様、1月から数量、金額ともに減少しており、2月から5月にかけてロイン系の輸出重量の減少率の方が牛肉全体よりも大きく、ロイン系の方が輸出への影響度が大きかった。なお、単価の下落はまだ継続している。

「ロイン系」は高価格部位であり、牛肉の輸出金額全体に占める割合も高く、「ロイン系」の動向が、牛肉全体の動向に影響を与えていると考えられる。

《「ロイン系」》

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
数量(トン)	251.0	299.9	117.4	157.6	123.5	114.0	114.8	239.2
(対前年比)	(111.3)	(106.0)	(86.0)	(77.9)	(53.7)	(51.2)	(67.1)	(120.7)
金額(百万円)	2,065.0	2,510.9	983.1	1,347.9	1,044.4	848.8	801.3	1,687.4
(対前年比)	(112.2)	(106.9)	(87.7)	(82.3)	(55.4)	(46.8)	(57.2)	(104.3)
単価(円/kg)	8,228	8,372	8,374	8,555	8,456	7,442	6,981	7,053
(対前年比)	(100.8)	(100.8)	(102.0)	(105.6)	(103.1)	(91.3)	(85.3)	(86.4)

以 上